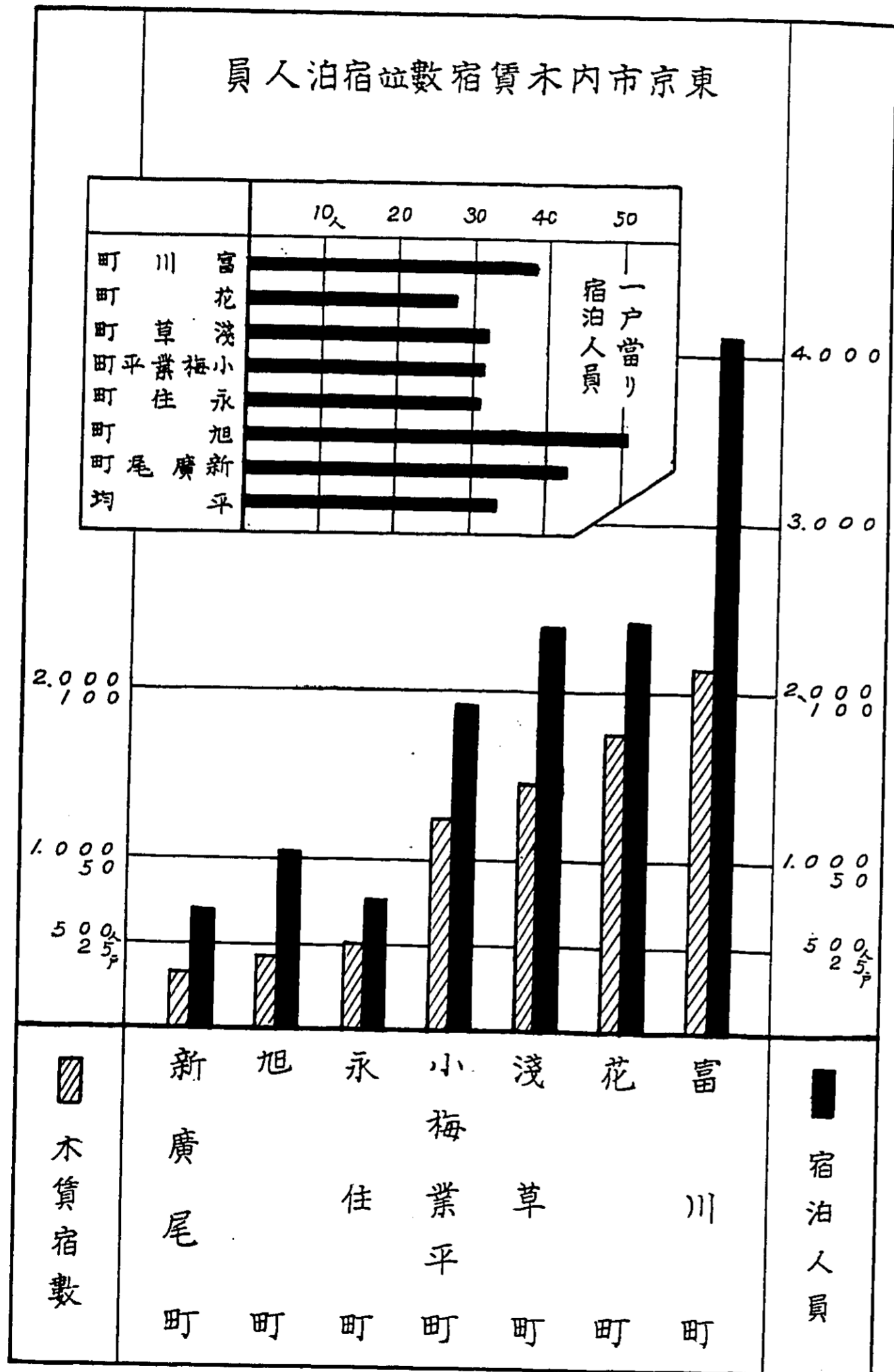


圖 二 第

員人泊宿並數宿賃木内市京東



第六表 一戸平均宿泊客數

地 區	月 數	同上百分比	宿 泊 客	同上百分比	一戸平均宿泊客
富川町	108	27.5	4,126	30.8	38.2
花町	88	22.3	2,407	18.1	27.3
浅草町	73	18.6	2,386	17.8	32.7
小梅業平町	62	15.7	1,946	14.5	31.4
永住町	25	6.4	781	5.8	31.2
旭町	21	5.4	1,054	7.9	50.2
新廣尾町	16	4.1	688	5.1	43.0
計	393	100.0	13,388	100.0	34.1
品川町	15	3.8	496	3.7	33.1
南千住町	9	2.3	356	2.7	39.6
合計	417	100.0	14,240	100.0	34.1

右に依れば今回調査したる地區に於て宿泊所數は富川町最も多く其數一〇八戸を算し全市の約二割七分を占め、次いで多きは花町、浅草町、小梅業平町にして永住町、旭町、新廣尾町は之より遙かに降り其數少なし、而して品川町は一五戸南千住町は僅かに九戸に過ぎず、又其宿泊人員は其割合略一戸

數に比例せり、即ち富川町は四、二二六人を算し、全市の約三割以上を占め、花町、淺草町は全市の約一割八分小梅業平町は約一割五分の客を收容し、永住町、旭町、新廣尾町は孰れも五分乃至八分を越えず。

今各地區に於ける一戸當り平均宿泊人員を算するに、市部にて最も多きは旭町にして一戸平均五〇・二人なり、次いで多きは新廣尾町の四三・〇人にして富川町の三八・二人は第三位に屬し次いで淺草町の三二・七人小梅業平町の三一・四人永住町の三一・二人花町の二七・三人の順にして花町最も少なく市部の總平均は三四・一人なり、又南千住町は三九・六人品川町は三三・一人なりとす、之を明治四十四年頃の一戸平均二二・二人(内務省調査)に比すれば約五割の増加なり。

二、**宿泊客數に依り分ちたる木賃宿數** 今回調査したる市郡木賃宿總數四一七戸を其宿泊人員數を十人未満、十人以上四十九人を五人階級、五十人以上を十人階級に分ち其數を地區別に求むるに左表の如し。

第七表 宿泊客數に依り分ちたる木賃宿數

宿泊客數	實數										比例					
	富川町	花町	淺草町	小梅業平町	永住町	旭町	新廣尾町	計	品川町	南千住町	計	合計	市部計	郡部計	合計	
一—九人	—	〇	—	二	—	—	—	—	—	—	—	四	一九	三八	一六七	四・六
一〇—一四人	二	六	—	一	七	—	—	—	—	—	—	四	三	四・六	一六七	五・三

一五—一九人	五	九	三	二	二	一	三	一	一	二	三	七	九	八	三	七
二〇—二四人	八	三	八	四	七	二	三	三	一	一	二	四	七	二	五	二
二五—二九人	七	三	八	一	二	一	三	一	一	一	三	七	〇	一	六	一
三〇—三四人	九	九	三	三	七	二	七	一	二	二	三	八	一	八	三	一
三五—三九人	六	七	九	七	五	一	四	二	一	二	五	三	五	八	三	二
四〇—四四人	二	二	三	三	一	二	一	三	一	三	三	六	一	五	三	三
四五—四九人	〇	三	四	一	一	二	三	一	二	三	四	三	五	八	三	五
五〇—五九人	六	四	二	四	三	二	四	一	一	二	五	六	一	四	三	六
六〇—七九人	三	二	四	一	一	一	三	二	一	二	四	五	六	八	三	五
八〇—九九人	一	一	一	一	一	一	四	一	一	一	五	六	二	四	三	二
一〇〇以上	一	一	一	一	一	一	四	一	一	一	五	六	二	四	三	二
計	二	六	七	三	三	三	三	五	九	二	四	七	一〇	〇	一〇	〇

右に依れば市内にて宿泊者十五人未満の宿屋の最も多きは花町及小梅業平町にして、六十人以上の多人数宿泊客の宿屋の割合に多きは富川町及新廣尾町なり、又百人以上の宿屋は小梅業平町に一戸旭町に二戸新廣尾町に一戸ありて全市合計四戸なり、今郡部を除き市部總體に就き宿泊客數階級別に戸數を見るに最も多きは三〇—三四人の七一戸にして全市の一割八分を占め、次いで多きは二五—二九人の六七戸、三五—三九人の四九戸、二〇—二四人の四五戸なり、又十五人未満は三三戸其割合は八・四%六十人以上は三〇戸、其割合は七・六%なり、而して木賃宿總數の約四割五分は三十人未満の宿屋に

して又宿泊客總數の約半數以上は木賃宿總數の約三分の一の宿屋に於て收容し居るものなりとす。

第二、木賃宿建物構造並敷地及建坪

一、持家と借家とに分ちたる木賃宿數 今木賃宿の構造を観察するに先だち、今回調査したる木賃宿四一七戸を持家と借家とに分ち其割合を見るに、市部は三九三戸の内持家は一六七戸借家は二二六戸にして其割合持家は四二・五%借家は五七・五%なり、又郡部は二四戸の内持家一三戸借家一戸其割合持家は五四・二%借家は四五・八%なり、之を地區別に見るに持家の割合多きは永住町の八割にして又持家の割合の少なきは花町の二割なりとす、而して借家より持家の割合の多きは市内は永住町の外、淺草町のみにして、他は全部持家より借家の割合大なり、又品川町及南千住町は兩地區とも持家の割合借家より稍多し之を表示すれば左の如し。

第八表 持家と借家とに分ちたる木賃宿數

地 區	實 數		計	比 例		計
	持 家	借 家		持 家	借 家	
富 川 町	五〇	五八	一〇八	四六・三	五三・七	一〇〇・〇
花 町	一九	六九	八八	二一・六	七八・四	一〇〇・〇
淺 草 町	四一	三二	七三	五六・二	四三・八	一〇〇・〇
小 梅 業 平 町	二二	三九	六一	三七・一	六二・九	一〇〇・〇

永住町	二〇	五	二五	八〇・〇	二〇・〇	一〇〇・〇
旭町	八	一三	二一	三八・一	六一・九	一〇〇・〇
新廣尾町	六	一〇	一六	三七・五	六二・五	一〇〇・〇
計	一六七	二二六	三九三	四二・五	五七・五	一〇〇・〇
品川町	八	七	一五	五三・三	四六・七	一〇〇・〇
南千住町	五	四	九	五五・六	四四・四	一〇〇・〇
計	一三	一一	二四	五四・二	四五・八	一〇〇・〇
合	一八〇	二三七	四一七	四三・二	五六・八	一〇〇・〇

二、一戸建と長屋 今回調査したる木賃宿は全部木造にして内一戸建は三三二戸其割合全数の約八割を占め他の八五戸即ち約二割は長屋なりとす、一戸建の割合の最も多きは新廣尾町の九割四分及淺草町の九割最少なるは小梅業平町の四割五分なり之を示せば左の如し。

第九表 一戸建と長屋とに分ちたる木賃宿數

地 區	實 數		比 例	
	一戸建	長 屋	一戸建	長 屋
富川町	八八	二〇	一〇八	八一・五
花 町	七九	九	八八	一〇・二
淺草町	六六	七	七三	九・四
小梅業平町	二八	三四	六二	四五・二
永住町	二〇	五	二五	八〇・〇
旭町	一七	四	二一	八一・〇
計	一八〇	二三七	四一七	五六・八

新廣尾町	一五	一	一六	九三・七	六・三	一〇〇・〇
計	三三三	八〇	三九三	七九・六	二〇・四	一〇〇・〇
品川町	一一	四	一五	七三・三	二六・七	一〇〇・〇
南千住町	八	一	九	八八・九	一一・一	一〇〇・〇
計	一九	五	二四	七九・二	二〇・八	一〇〇・〇
合	三三三	八五	四一七	七九・六	二〇・四	一〇〇・〇

三、建物階數別 更に木賃宿を階數に依り分ち觀るに二階建最も多く其數市部三三四戸にして八割五分を占め平家建三階建は共に遙かに少なし、即ち平家建は四〇戸割合は一割にして三階建は僅かに一九戸其割合五分に過ぎず又四階建以上のものは全く無し、而して平家建の割合に多きは品川町、旭町、永住町にして又三階建の割合多きは富川町にして花町、淺草町、旭町及南千住町は三階建皆無なりとす、今之を地區別に表示すれば左の如し。

第一〇表 階數に依り分ちたる木賃宿數

地 區	家 數			比 例		
	平家建	二階建	三階建	平家建	二階建	三階建
富川町	一	九二	一五	一〇八	〇・九	八五・二
花 町	一四	七四	一	八八	一五・九	八四・一
淺草町	一	七二	一	七三	一・四	九八・六
小梅業平町	八	五二	二	六二	一二・九	八三・九
計	三三三	四一七	七九・六	二〇・四	一〇〇・〇	一〇〇・〇

永住町	八	一六	一	二五	三二〇	六四〇	四〇	一〇〇〇
旭町	七	一四	一	二一	三三三	六六七	一	一〇〇〇
新廣尾町	一	一四	一	一六	六三	八七四	六三	一〇〇〇
計	四〇	三三四	一九	三九三	一〇二	八五〇	四八	一〇〇〇
品川町	七	七	一	一五	四六七	四六七	六六	一〇〇〇
南千住町	一	八	一	九	一一一	八八九	一	一〇〇〇
計	八	一五	一	二四	三三三	六二五	四二	一〇〇〇
合計	四八	三四九	二〇	四一七	一五	八三七	四八	一〇〇〇

四、木賃宿敷地坪數 市内木賃宿三九三戸の敷地總坪數は一四、五七九坪一戸當り平均三七坪にして、其一戸當りの最多なるは旭町の六一・七坪、最少なるは富川町の三〇・九坪なり即ち左表の如し。

第一一表 木賃宿に於ける敷地坪數

地 區	戸 數	敷地總坪數	一戸當り平均敷地坪數
富川町	一〇八	三、三三七	三〇・九
花 草町	八八	二、九二〇	三三・一
淺草町	七三	三、〇八五	四二・二
小梅業平町	六二	二、〇九二	三三・七
永住町	二五	一、一五五	四六・二
旭町	二一	一、三〇六	六一・七
新廣尾町	一六	六八〇	四二・五

計

三九三

一四、五七九

三七・一

更に木賃宿敷地と建物下坪との關係を觀るに、今回調査したる市部郡部四一七戸の内敷地坪より建物下坪を控除したる間地が五坪以上のもの一九四戸あり、其内十坪以上のものは一二〇戸なり、即ち五坪以上の間地を有するものは四割六分の割合なり、今建物下坪數と敷地坪數とに依り分ちたる木賃宿數を表示すれば左の如し。

第一二表 敷地坪數と建物下坪とに依り分ちたる木賃宿數

敷地坪數	建 物 下 坪						計
	一〇坪以下	一〇坪一五坪	一五坪二〇坪	二〇坪二五坪	二五坪三〇坪	三〇坪以上	
一〇坪以下	四	一一	一	一	一	一	一六
一〇坪一五坪	一	一三	二二	一	一	一	三六
一五坪二〇坪	一	三	四六	一一	一	一	六二
二〇坪二五坪	一	一	一四	四〇	一〇	一	六五
二五坪三〇坪	一	一	七	一六	一四	一	四一
三〇坪三五坪	一	一	一	八	九	一	三四
三五坪四〇坪	一	一	一	一六	一七	一	五一
四〇坪四五坪	一	一	一	六	一〇	一	三五
四五坪五〇坪	一	一	一	二	五	一	二九
五〇坪六〇坪	一	一	一	三	四	一	二九
計	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二

六〇—七〇坪													二	二	七	四	五	四	—	二	四
七〇—八〇坪																					
八〇—九〇坪																					
九〇—一〇〇坪																					
一〇〇—一五〇坪																					
一五〇坪以上																					
計	六	二	四	二	四	二	五	六	八	五	二	二	四	一	八	一	四	八	四	六	二
	二	四	二	三	三	五	三	三	三	三	三	二	七	二	二	二	六	七	一	一	一
	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	四	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
	六	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
計	四	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

備考 太字の数字は建坪数より敷地坪が五坪以上大なるものを示す

右に依れば約半数即ち二二〇戸は敷地三十五坪未満にして、内最も多きは二五 三五坪及二〇 二五坪にして兩者合して總数の約三割に當る、而して一五坪未満のもの一六戸又百坪以上のもの八戸あり。

五、建坪數 調査當時の木賃宿の建坪數を觀るに市部三九三戸の總建坪數は一七、七七四坪にして一戸當り平均四五・二坪なり、又郡部二四戸の總建坪數は一、一九八坪にして一戸當り平均四九・九坪なり之を表示すれば左の如し。

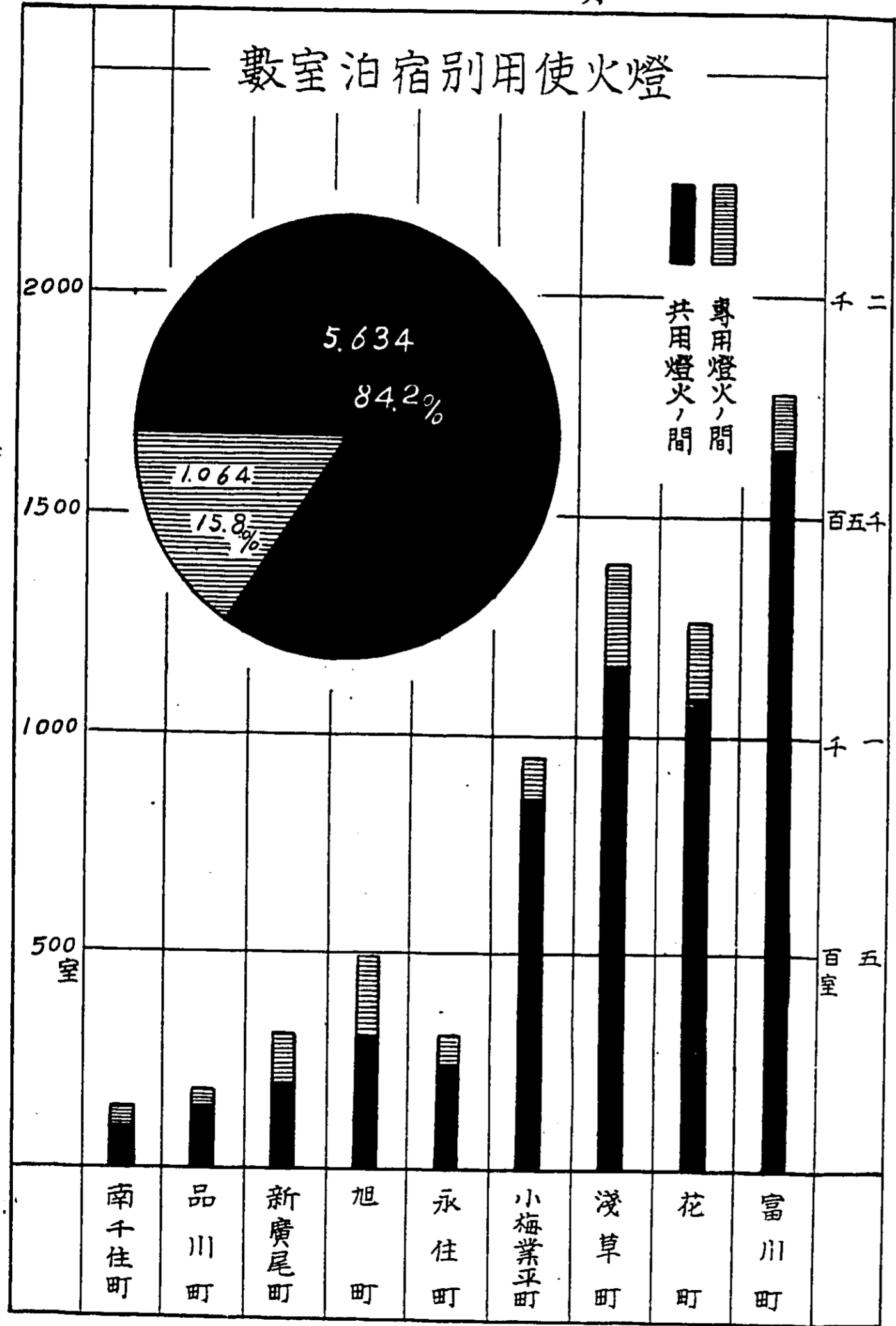
第一三表 木賃宿一戸平均建坪數

地 區	戸 數	總建坪數	一戸當り平均 建坪數
宮 川 町	一〇八	四、七七九	四四・五
花 草 町	八八	三、四七六	三九・五
淺 草 町	七三	三、七四二	五一・三
小梅業平町	六二	二、六三九	四二・六
永 住 町	二五	一、一〇八	四四・三
旭 町	二一	一、二五八	五九・九
新 廣 尾 町	一六	七七〇	四八・一
計	三九三	一七、七七四	四五・二
品 川 町	一五	六九四	四六・三
南 千 住 町	九	五〇三	五五・九
計	二四	一、一九八	四九・九
合 計	四一七	一八、九七二	四五・五

更に建坪を十坪階級に分ち地區別に宿屋數を算するに、市部にて最も多きは四〇—五〇坪の九九戸及其建坪の大なる一〇〇坪以上のものは一〇戸なり、尙二〇坪以下の木賃宿の割合に多きは小梅業平町及品川町にして又一五〇坪以上のものあるは小梅業平町、旭町及南千住町にして各一戸を有す之を表示すれば左の如し。

第一四表 建坪數の階級に依り分ちたる木賃宿數

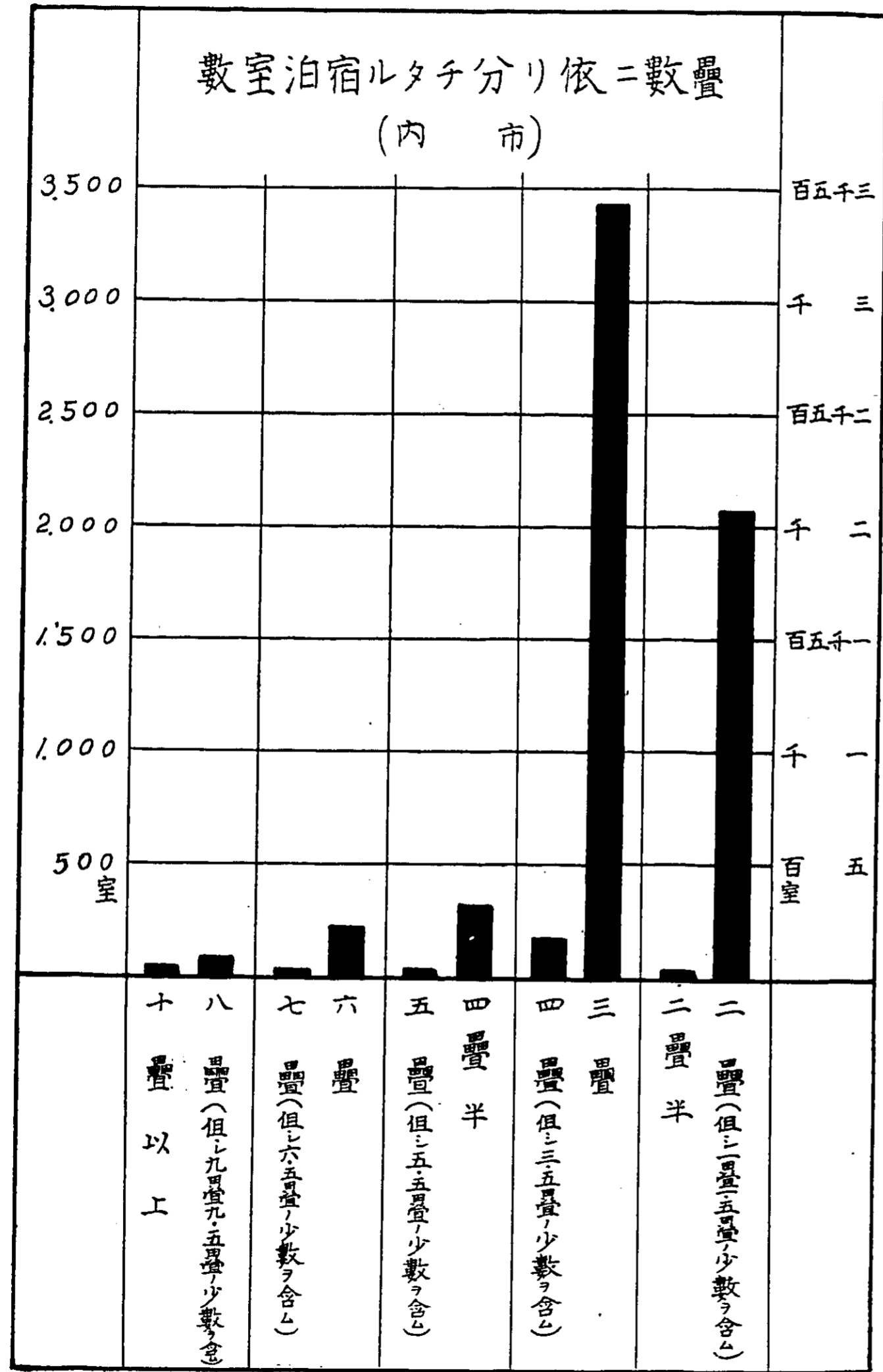
圖 三 第



第四、宿泊室ニ宿泊人員

例 比	數		實							地 區	
	合 計	南 千 住 町	品 川 町	新 廣 尾 町	旭 町	永 住 町	小 梅 業 平 町	淺 草 町	花 町		富 川 町
合 計	3,634	3	3	3	1	1	4	1	3	3	以 下
郡 部 計	3,518	7	4	1	1	7	2	4	3	3	二〇〇坪
市 部 計	1,116	2	2	2	2	1	2	5	6	6	三〇〇坪
合 計	2,518	1	1	1	1	2	2	6	7	7	四〇〇坪
南 千 住 町	1,064	1	1	1	1	2	2	7	7	3	五〇〇坪
品 川 町	158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	四〇〇坪
新 廣 尾 町	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	五〇〇坪
旭 町	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	四〇〇坪
永 住 町	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	五〇〇坪
小 梅 業 平 町	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	六〇〇坪
淺 草 町	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	七〇〇坪
花 町	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	八〇〇坪
富 川 町	165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一〇〇坪
合 計	100.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	一五〇坪以上

圖 四 第



一、宿泊室の燈火使用種別に依り分ちたる木賃宿數 木賃宿に於ては嘗て宿泊室に専用燈火を使用するもの少なく大抵廊下又は便所の入口に設備しありて往々室内に全く燈火の達せざるものありしが、近時次第に別間と稱し室内又は二室の間に電燈を設備するに至れり、殊に家族同伴者は専用燈火を望むもの多く従つて家族同伴止宿者の多き宿屋は概ね宿泊室に専用電燈を設備するもの漸く増加せり、今木賃宿を其宿泊室の燈火使用種別に依り分つに宿泊室全部に専用電燈の備付ある木賃宿は市内に於て僅かに旭町に一戸、新廣尾町に二戸、市外は品川町に四戸あるのみ、之に反し専用電燈の宿泊室を一室も有せざる木賃宿は市郡を通じて一三七戸にして約三割を占め、他の六割は専用共用兩種の宿泊室ある木賃宿なりとす、(茲に稱する燈火共用の宿泊室とは燈火専用宿泊室以外の全部にして即ち二室共用の場合も漸く廊下の燈光の達する室をも含む)又らんぶのみ使用する木賃宿は旭町に一戸ありて、電燈の外らんぶ又は瓦斯使用の宿泊室を有するもの市内に於て八戸あり、而して電燈若くは瓦斯らんぶ等の何れを問はず専用燈火の宿泊室を多く有するは家族同伴者の多數宿泊するもの又は普通旅客の多き宿屋なりとす、今各戸に於ける専用燈火使用の宿泊室が共用燈火の宿泊室より多き木賃宿に就いて見るに、富川町には一戸も無く全部共用宿泊室の多き宿屋のみなり、之に反し専用燈火使用の宿泊室が共用宿泊室より多き宿屋が割合に多數なるは家族同伴止宿者の多き旭町、新廣尾町にして又郡部に屬する品川町及南千住町も亦割合に多し、之を表示すれば左の如し。

第一五表 燈火使用種別に依り分ちたる木賃宿數——實數

地 區	電燈使用の宿泊室のみのもの		電燈使用の宿泊室のみのもの		計 合
	室内に専用電燈の備わつたもの	室内に共用電燈の備わつたもの	室内に専用電燈の備わつたもの	室内に共用電燈の備わつたもの	
富川町	—	—	—	—	—
花 草町	—	—	—	—	—
浅 草町	—	—	—	—	—
小梅業平町	—	—	—	—	—
永 住町	—	—	—	—	—
旭 町	—	—	—	—	—
新 廣 尾町	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
品 川町	—	—	—	—	—
南千住町	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—	—

第一六表 燈火使用種別に依り分ちたる木賃宿數——比例

地 區	電燈使用の宿泊室のみのもの		電燈使用の宿泊室のみのもの		計 合
	室内に専用電燈の備わつたもの	室内に共用電燈の備わつたもの	室内に専用電燈の備わつたもの	室内に共用電燈の備わつたもの	
富川町	—	—	—	—	—
花 草町	—	—	—	—	—
浅 草町	—	—	—	—	—
小梅業平町	—	—	—	—	—
永 住町	—	—	—	—	—
旭 町	—	—	—	—	—
新 廣 尾町	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
品 川町	—	—	—	—	—
南千住町	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—	—

二、燈火使用別宿泊室數 今回調査したる木賃宿四一七戸に於ける宿泊室總數は市内六、四二五、郡部三六六、合計六、七九一室にして、之を燈火使用別に見るに室内に専用電燈のある間は市部郡部を合して一、〇六四室を算し總數の一五・七%に當り、他は殆んど全部電燈共用の宿泊室にして其數五、六三四

室割合八二・九%なり、又瓦斯らんぶ使用の間は僅少に過ぎず、更に電燈専用と共用の間との割合を市内と市外と比較するに、市内は専用の宿泊室は一五・四%共用の宿泊室は八四・〇%なるに品川町、南千住町は兩者合して専用二一・〇%共用六四・八%にして、市内の木賃宿に於ては専用電燈の間割合に少なきを見る、又之を地區別に観るに専用の間の割合大なるは旭町の三九・四%新廣尾町の二六・三%品川町の三四・二%(専用らんぶの間を含む)にして最も少なきは富川町の六・一%なりとす、蓋し前者は家族同伴止宿者の多數なる地區にして後者は單身止宿者の多き處なり、今燈火使用別宿泊室數を表示すれば左の如し。

第一七表 燈火使用別木賃宿泊室數——實數

地 區	宿泊所數	室内に専用電燈のある間		室内に専用瓦斯のある間		共用電燈の間		共用瓦斯の間		室内に専用らんぶ使用の間		計
		専用電燈	共用電燈	専用瓦斯	共用瓦斯	専用らんぶ	共用らんぶ					
品川町	一五	一〇六	一、六五	—	—	—	—	—	—	—	—	一七三
南千住町	九	一八三	一、〇二	—	—	—	—	—	—	—	—	二二五
計	二四	二八九	二、六七	—	—	—	—	—	—	—	—	一九八
富川町	一〇六	一〇六	一、六五	—	—	—	—	—	—	—	—	一七三
花 草 町	六	一八三	一、〇二	—	—	—	—	—	—	—	—	二二五
浅 草 町	七	二三四	一、二五	—	—	—	—	—	—	—	—	二四一
小梅業平町	三	九	七九	—	—	—	—	—	—	—	—	八二
永 住 町	三	天	一四	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇一
旭 町	三	一〇	二二	—	—	—	—	—	—	—	—	四三
新廣尾町	六	二五	一四	—	—	—	—	—	—	—	—	三七
計	三三	九七	五三九	—	—	—	—	—	—	—	—	六四五

第一八表 燈火使用別木賃宿泊室數——比例

地 區	宿泊所數	室内に専用電燈のある間		室内に専用瓦斯のある間		共用電燈の間		共用瓦斯の間		室内に専用らんぶ使用の間		計
		専用電燈	共用電燈	専用瓦斯	共用瓦斯	専用らんぶ	共用らんぶ					
品川町	一〇六	六・一	三九	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
南千住町	八	二一・五	四五	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
計	一四	一六・九	八〇	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
富川町	一〇六	六・一	三九	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
花 草 町	六	二一・五	四五	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
浅 草 町	七	一六・九	八〇	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
小梅業平町	三	一一・〇	八九	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
永 住 町	三	一九・三	八〇・七	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
旭 町	三	三三・四	五〇・〇	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
新廣尾町	六	三三・三	六二・五	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
計	三三	一五・四	八四・〇	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
品川町	一五	一四・八	六八	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
南千住町	九	三〇・〇	六八	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
計	二四	三三・〇	六八	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	
合 計	四七	一五・七	八二・九	—	—	—	—	—	—	—	一〇〇	

三、宿泊室全部の疊數に依り分ちたる木賃宿數 今回調査したる木賃宿に於ける宿泊室疊數總數は市

部一九、五〇〇疊郡部一、三〇〇疊にして一戸當り客室疊數は市部四九・五疊郡部五三・七疊なり、今木賃宿に於ける宿泊室全部の總疊數別木賃宿數を見るに、市部に於て最も多きは三〇一四〇疊未滿及四〇一五〇疊未滿の木賃宿にして孰れも約二割四分兩者合して略々全木賃宿の半分を占む、而して二十疊以下の宿屋は市部は一四戸郡部は四戸にして郡部割合に多し、又百疊以上の宿屋は市部は二戸郡部は三戸にして其割合は市内より品川町、南千住町に多きを見る、之を表示すれば左の如し。

第一九表 木賃宿に於ける宿泊室全部の疊數に依り分ちたる木賃宿數

疊數	實數										比例		
	富川町	花町	淺草町	小梅町	永住町	旭町	新廣尾町	計	品川町	南千住町	計	市部	郡部
二〇疊未滿	二	二	一	四	三	一	一	一四	三	一	四	八	三・六
二〇一三〇疊	四	二	二	九	五	一	二	三三	三	二	三五	四九	二〇・九
三〇一四〇疊	六	六	五	三	七	四	二	三九	一	二	四一	六二	二八・三
四〇一五〇疊	三	五	六	二	七	三	二	二六	二	二	二八	四二	一八・三
五〇一六〇疊	三	九	五	六	一	三	三	二六	一	二	二八	四二	一八・三
六〇一七〇疊	七	七	三	四	一	二	三	二五	一	三	二八	四二	一八・三
七〇一八〇疊	八	三	六	三	二	三	一	二六	二	三	二九	四一	一八・三
八〇一九〇疊	三	一	三	一	二	三	一	一六	一	三	一九	二六	一〇・五
九〇一〇〇疊	二	二	二	一	一	一	一	一〇	一	一	一二	一七	六・三
計	二八	六	三	三	三	二	二	三六	五	九	四七	一〇〇	一〇〇

一〇〇一五〇疊 二 一 一 一 二 一 一 一 七 二 一 二 九 一・八 八・三 二・三
 一五〇一三〇疊 一 二 一 一 一 一 一 一 三 一 一 三 〇・八 一 〇・七
 二〇〇疊以上 一 一 一 一 一 一 一 一 二 一 一 三 〇・五 四 二 〇・七

四、疊數別宿泊室數 今回調査したる市部郡部の木賃宿に於ける宿泊室總數六、七九一室を疊數に分ち観るに、最多なるは三疊の三、六二五室にして總數の約半數以上を占め、二疊の二、一五一室之に次ぎ其割合は總數の三割に當り、他は孰れも遙かに少なく四疊以上は總數の一割五分に過ぎず、概して木賃宿に於ては二疊又は三疊等の小室多し、今客室を大小に依り其數を市内と市外と比較するに、二疊、三疊等の小室は其割合市内より市外少なきを觀る、即ち市内に於ては兩者八六〇なるに市外は七三〇なり、之に反し市外は市内より四疊半、六疊及六疊以上の間數の割合大なるを見る。

更に宿泊室を疊數に依り分ち地區別に觀るに、各地夫々の慣習客種等の如何に依り又單身者と家族同伴者との多少に依り差違あり、其特殊なるものを擧ぐれば六疊以上の間の割合に多きは永住町にして三疊以下の客間の割合多きは淺草町なり、而して一疊及一疊半の客間を有するは富川町のみにして凡て一一室あり、左に之を表示せん。

第二〇表 疊數に依り分ちたる宿泊室數——實數

一	一	二	三	三	四	四	五	五	六	六	七	七	八	九	九	一〇	一二以上	計	一七五	一三三	一三八	八八	三〇	四三	三七	六四五	二六	一五〇	三六	六七一
一	二	一	三	二	三	三	四	四	五	五	六	六	七	七	八	九	一〇	富川町	花町	浅草町	小梅	永住町	旭町	新廣	計	品川町	南千	計	合計	
八	三	三	二	一	一	一	二	二	三	三	四	四	五	五	六	七	八	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
四	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
五	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一		
六	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一		
七	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一		
八	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一		
九	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一		
一〇	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一		
一一	一〇	九	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一		
一二以上	一一	一〇	一〇	九	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	一二以上	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	

第二一表 疊敷に依り分ちたる宿泊室數——比例

一	一	二	三	三	四	四	五	五	六	六	七	七	八	九	九	一〇	計	一七五	一三三	一三八	八八	三〇	四三	三七	六四五	二六	一五〇	三六	六七一
一	二	一	三	二	三	三	四	四	五	五	六	六	七	七	八	九	富川町	花町	浅草町	小梅	永住町	旭町	新廣	計	品川町	南千	計	合計	
八	三	三	二	一	一	一	二	二	三	三	四	四	五	五	六	七	八	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	
六	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	
七	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	
八	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	一	一	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	
九	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	一	
一〇	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	一	
一一	一〇	九	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	三	二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一	
一二以上	一一	一〇	一〇	九	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四	三	一二以上	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	一

方多數なりとす、而して三人のものに於ては殆んど三疊の間にして四人同室せる間は亦三疊最も多きも二疊、四疊半、六疊亦相當に多し、五人も亦三疊最も多數なるも六疊八疊亦少なからず、而して六人は六疊の間最も多く七人以上は八疊及十疊の間最も多數なりとす、之を表示すれば左の如し。

第二三表 同室者數に依り分ちたる宿泊室數

疊數	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
二疊未疊	九	—	—	—	—	—	—	九
二疊	八七	七九	一七	四	元	七	—	一、八七
三疊	三三	一、七〇	一、〇三	一四	三	元	七	三、一八
四疊	七	元	五	三	—	—	—	一五
四疊半	八	七	二五	四	九	二	二	二、六二
五疊—六疊	二	—	—	七	五	二	—	一、六
六疊—七疊	六	三〇	五〇	三五	—	—	—	一三〇
七疊—八疊	—	—	—	—	四	五	—	—
八疊—九疊	—	—	—	—	八	元	—	—
九疊—一〇疊	—	—	—	—	—	—	—	—
一〇疊以上	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一、三六	二、三三	一、五〇	三八	一、六	一、七	八	五、八三
百分比	二、五	元、六	二、五	五、五	三、二	二、三	一、四	一〇〇、〇

七、同室者數に依り分ちたる宿泊人員 今回調査したる木賃宿泊人一四、二四〇人を同室者數の階級に依り分ち其人員を算するに、最も多數なるは一室二人のもの及三人のものにして其數前者四、六八四人後者四、五〇〇人にして孰れも全人員の約三割二三分を占む、次いで多きは一室一人の一、三二六人一室四人の一、二七二人にして孰れも約一割に當り五人、六人、七人以上は遙かに其數を減す。

概して夫婦者又は家族同伴者は一室を占有し往々二夫婦又は家族同伴者に單身者を加ふるものありと雖も、多數雜居者は大抵單身者にして近時は表の示す如く多人數雜居者割合に少なし、概して木賃宿に於ける宿泊室が最近益々小房主義に傾き一室一人又は二人の増加し多人數雜居者の減少を見るに至れり、是は主として宿泊客が雜居を喜ばざる爲なると又他面營業者に於ても風紀上及其他取締上便宜多きが爲めなり、例へば雜居の場合は賭博又は口論を誘致し易く又往々無斷泊込むものあるあり或は先客が座席を充分占め後客に座席を多く譲らざる事ある等其他之が取締上雜居に不便多きが如し。

更に同室者數と宿泊室の疊數との關係を觀るに、一人に於ては二疊の宿泊室に居るもの最多數にして八七九人を算し、三疊の間に居るものは其約半數の三九四人にして二疊以下及四疊以上の間に居るものは極少數なり、二人の場合は一人と反對に三疊の間に居るもの最多にして二、九四〇人を算し、二疊に居るものは其約半數の一、四七八人なり。

三人の場合は大部分三疊にして其數三、一八六人、四人の場合は三疊に居るもの五六四人にして最多を算し、二疊、四疊、四疊半、六疊に居るものは孰れも一五〇人内外なりとす、五人の場合は三疊及六疊最多數にして前者は四一〇後者は一六五人を算す、六人の場合は三疊の間に居るもの亦尠なからざるも六疊の間に居るもの最多にして三五四人を示す、七人以上は八疊及十疊の間に居るもの最も多し、今之を表示すれば左の如し。

第二四表 同室者數に依り分ちたる宿泊人員——實數

疊數	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
二疊未滿	九	—	—	—	—	—	—	九
二疊	—	一四六	—	—	—	—	—	一四六
三疊	—	—	—	—	—	—	—	—
三疊—四疊	—	—	—	—	—	—	—	—
四疊	—	—	—	—	—	—	—	—
四疊—半	—	—	—	—	—	—	—	—
五疊—六疊	—	—	—	—	—	—	—	—
六疊—七疊	—	—	—	—	—	—	—	—
七疊—八疊	—	—	—	—	—	—	—	—
八疊—九疊	—	—	—	—	—	—	—	—
九疊—一〇疊	—	—	—	—	—	—	—	—
一〇疊以上	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—

第二五表 同室者數に依り分ちたる宿泊人員——比例

疊數	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
二疊未滿	0.7	—	—	—	—	—	—	0.1
二疊—三疊	—	—	—	—	—	—	—	—
三疊—四疊	—	—	—	—	—	—	—	—
四疊	—	—	—	—	—	—	—	—
四疊—半	—	—	—	—	—	—	—	—
五疊—六疊	—	—	—	—	—	—	—	—
六疊—七疊	—	—	—	—	—	—	—	—
七疊—八疊	—	—	—	—	—	—	—	—
八疊—九疊	—	—	—	—	—	—	—	—
九疊—一〇疊	—	—	—	—	—	—	—	—
一〇疊以上	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—

更に地區別に同室者の階級に依り分ち其宿泊人員を観るに、一室一人のもの、割合最多なるは淺草町にして一五・三%を示し最小なるは小梅業平町の五・九%なり、二人者の最多なるは亦淺草町にして四・三%を示し最小なるは永住町の二四・一%なりとす、而して五人以上の多數雜居するもの、多きは

南千住町の四〇・六%及永住町の三五・一%にして其少なきは浅草町の四・八%なりとす、概して家族同伴者は五人以上のもの少なき故一室に五人以上の多人数雑居者は多く單身者にして従て多数雑居の多き處は宿泊所の構造の如何に依るべきは勿論なるも家族同伴止宿者の多き旭町又は新廣尾町に少なく單身宿泊者の多き南千住町、永住町に多きを見る、只浅草町は稍事情を異にし單身宿泊者多数なるも多人数同室するもの少なし、今同室者數に依り分ちたる宿泊人員を地區別に表示すれば左の如し。

第二六表 同室者數に依り分ちたる宿泊人員——實數

地區	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
富川町	三三	一三六	一四六	三六	三〇	二六	三〇	四二六
花 草 町	三七	七六	八五	二〇	一〇	一三	九	二四〇
浅 草 町	三三	一〇八	七〇	一〇〇	五	二	二	二六六
小梅葉平町	二五	三〇	七五	三六	六	一〇	六	一八六
永 住 町	六	一八	二五	一〇	一〇	八	六	七二
旭 町	九	三	二	二	二	四	三	一〇四
新廣尾町	九	一七	一五	八	五	五	五	六八
計	一三三	四七六	四三六	一七二	八五	七三	六〇	三、三八
品 川 町	一	一	三	〇	三	三	三	四六
南千住町	三〇	六	六	〇	〇	六	七	五六
計	三三	二〇	三〇	一〇	三	九	一〇	一五二

第二七表 同室者數に依り分ちたる宿泊人員——比例

地區	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
富川町	七八	三二	一四二	七七	六三	六七	六一	一〇〇〇
花 草 町	九四	三二	一四七	八五	五〇	五五	三八	一〇〇〇
浅 草 町	一五三	四三	二四	四二	二七	一〇	一一	一〇〇〇
小梅葉平町	五九	三二	三二	二七	四六	五六	四八	一〇〇〇
永 住 町	八四	二一	一九	二八	二八	一〇	一一	一〇〇〇
旭 町	九四	一四七	一三三	二九	四六	三二	三二	一〇〇〇
新廣尾町	一〇〇	二五〇	二六四	三三	七八	二二	二二	一〇〇〇
計	九四	三三四	三三一	八八	六四	五四	四五	一〇〇〇
品 川 町	六九	二三〇	二二三	一六一	三三	七二	六五	一〇〇〇
南千住町	八四	二六九	一八五	五六	二九	一六	二〇	一〇〇〇
計	七五	二四六	三三六	二七	八八	二二	三五	一〇〇〇
合 計	九三	三三九	三三六	八九	六五	五八	五〇	一〇〇〇

更に木賃宿に於ける宿泊室中大部分を占むる二疊及三疊の間に就き同室者の階級に分ち地區別に比較するに

二疊の間に於て一室一人の最多なるは浅草町の四一・三%南千住町の四八・八%にして最少なる富川町

の一八・八の、小梅業平町の一九・四のなりとす、一室二人の最多なるは富川町の五〇・三の、小梅業平町の五〇・一の、旭町の五〇・〇のにして最少なるは新廣尾町の二六・七のなり、三人は各地區に於ける割合の較差比較的少なく一三・〇の乃至二二・〇のを示し、四人以上の割合に多きは品川町、新廣尾町にして浅草町最も割合少なし。

三疊の間に於て一室一人のものは各地共其數少なきを以て之が對比を略し、一室二人の場合を見るに最も多きは浅草町の五〇・九の、南千住町の五七・一のにして最少なるは品川町の二五・二のなり、又三人の場合に就いて割合の最大なるは富川町の五一・一のにして最少なるは永住町の二四・五のなりとす、而して四人以上は品川町、旭町割合多く浅草町、南千住町比較的少なし。

之を概観するに二疊若くは三疊の如き小室に一人又は二人の少人數のもの、多きは浅草町、南千住町等別間を望む一夜泊りの客の多き處にして、家族同伴者止宿者は宿泊料金等の關係上小室を借るもの割合に多きを以て品川町、旭町等家族同伴者の多き處に一室多人數のもの割合に多き所以なり、今二疊及三疊の間に於ける同室者數に依り分ちたる宿泊人員を地區別に表示すれば左の如し。

第二八表 二疊の宿泊室に於ける同室者數に依り分ちたる宿泊人員——實數

地 區	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
富川町	三三	五〇	一五	七	七	二	—	一、一七
花 町	一五	一五	六	二	五	—	—	四七
計	四八	一〇〇	二一	一四	一二	二	—	二、〇〇

地 區	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
浅草町	二七	二六	八	—	—	—	—	六一
小梅業平町	一六	四	三	—	—	—	—	二三
永住町	七	七	八	—	—	—	—	二二
旭町	六	一	五	—	—	—	—	一二
新廣尾町	—	—	—	—	—	—	—	—
計	八〇	一、〇六	五〇	一八	二五	二	—	三、二二
品川町	一八	三	三	四	五	六	—	四九
南千住町	三	六	六	—	—	—	—	一五
計	二一	九	九	四	五	六	—	六五
合 計	六九	一、一五	五九	二二	二七	八	—	三、二九

第二九表 二疊の宿泊室に於ける同室者數に依り分ちたる宿泊人員——比例

地 區	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
富川町	二・八	五・三	一・四	〇・五	〇・六	〇・二	—	一〇〇・〇
花 町	三・九	一八・〇	三・〇	五・九	一・二	—	—	一〇〇・〇
浅草町	四・三	四・〇	三・〇	一・二	一・五	—	—	一〇〇・〇
小梅業平町	一・四	五・一	一・四	九・六	—	—	—	一〇〇・〇
永住町	三・八	四・六	一・八	五・四	—	—	—	一〇〇・〇
旭町	三・九	五・〇	三・四	六・八	—	—	—	一〇〇・〇
新廣尾町	—	—	—	—	—	—	—	—
計	二・七	二七・七	一七・五	二〇・〇	一四・二	五・〇	—	一〇〇・〇

地区	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
品川町	三・三	三・一	一・四・八	五・〇	一・八・五	七・四	—	100.0
南千住町	四・八	三・三	一・四・〇	—	—	—	—	100.0
計	三・五	三・九	一・四・五	三・二	三・一	四・八	—	100.0
合計	二七・〇	四七・五	一六・〇	五・七	四・三	一・三	〇・二	100.0

第三〇表 三疊の間に於ける同室者數に依り分ちたる宿泊人員——實數

地区	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
品川町	三	七	九	五	四	三	—	29.0
南千住町	六	六	三	—	—	—	—	15.0
計	九	一三	一二	五	四	三	—	44.0
合計	二九・〇	二九・〇	三二・八	五・四	四・〇	一・六	—	77.8

第三一表 三疊の間に於ける同室者數に依り分ちたる宿泊人員——比例

地区	一人	二人	三人	四人	五人	六人	七人以上	計
品川町	四・三	三・〇	五・一	五・四	三・一	二・六	一・五	100.0
南千住町	六・〇	四・一	三・八	七・九	四・九	一・三	—	100.0
計	六・一	五・〇	三・九	二・三	一・八	—	—	100.0
合計	三・九	三・九	四・〇	五・四	二・七	一・六	一・五	100.0
品川町	四・四	二・二	三・七	一・九	一・三	—	—	100.0
南千住町	五・七	三・一	三・五	—	—	—	—	100.0
計	四・八	三・五	三・二	一・四	—	—	—	100.0
合計	五・一	三・一	四・三	七・三	五・三	二・二	〇・七	100.0

八、一人當り疊數別宿泊人員 今回の調査時に於ける木賃宿泊人員は一四、二四〇人にして使用宿泊室疊數總數は一八、〇三三疊なり、之が平均一人當り疊數は一疊三分、換言すれば一疊當り〇・七八人にして、之を地區別に算すれば品川町、小梅業平町、旭町、新廣尾町は一人當り、一・二疊にして花町は一・三疊淺草町、永住町、南千住町は一・四疊なり、而して一人當り疊數を半疊未滿、半疊—一疊

未滿、一疊—一疊半未滿、一疊半—二疊未滿、二疊—三疊未滿、三疊—五疊の六階級に分ち各宿泊人員を算するに、半疊未滿のものは二五七人、其割合は一・八%半疊—一疊未滿のものは二、〇六二人其割合は一四・五%にして一疊—一疊半未滿は六、四三二人、其割合は四五・二%を示し總宿泊人員の約半數を占む又一疊半—二疊未滿は三、六三六人にして其割合は二五・五%、二疊—三疊未滿は一、三四九人其割合は九・五%を示し三疊—五疊は五〇四人其割合は三・五%なり。

更に各地区に就き一人當り疊數の少なき一疊未滿と其多き一疊半以上の兩者に分ち其割合を観るに、一疊未滿のもの、割合に多きは、新廣尾町、旭町、品川町の家族同伴止宿者の多き處にして孰れも三割餘に當り、其割合に少なきは短期宿泊者の多き淺草町、南千住町にして兩者とも一割に滿たず、之に反し一疊半以上のもの多きは淺草町にして約半數以上を占め、其最少なるは富川町にして約三割に滿たず、今參考の爲め一人當り疊數別宿泊人員を表示すれば左の如し。

第三二表 一人當り疊數別宿泊人員——實數

地 區	〇・五疊—一疊					一疊—一疊半					一疊半—二疊					二疊—三疊					三疊—五疊					計				
	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿					
富川町	一五	五四	二二六	八〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	四、三三	未滿	一疊以上
花 草 町	五	三〇	九六	七〇	二七	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	二、四七	未滿	一疊以上
淺草町	一〇	一五	九〇	八〇	三三	九	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	二、三六	未滿	一疊以上
小梅樂平町	五	一六	一〇三	四九	二二	五	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一、九四	未滿	一疊以上

第三三表 一人當り疊數別宿泊人員——比例

地 區	〇・五疊—一疊					一疊—一疊半					一疊半—二疊					二疊—三疊					三疊—五疊					計								
	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿	未滿	一疊未滿	一疊半未滿	二疊未滿	三疊未滿		未滿	一疊未滿	一疊以上					
富川町	三〇	三二	五二	一六	六	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	四、三三
花 草 町	〇・二	三三	四〇	二九	一一	一	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	二、四七
淺草町	〇・四	七八	四〇	三九	三三	〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	二、三六
小梅樂平町	二・〇	一〇	三二	二二	一〇	一	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一、九四
旭 住 町	—	六八	三二	二七	一七	—	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	四、三三
新廣尾町	二・八	三・五	三・八	三・三	二・一	二・八	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	二、四七	
品川町	四・二	二・八	三・七	一・九	八・三	四・〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	一〇	二二	二、三六